

くめじま

議会だより

2016.3.1

No.55

若者の自主性や創造性を育む～
久米島町 ヤングフェスティバル
主催：ヤングフェスティバル実行委員会 主管：久米島町教育委員会



ヤングフェスティバルでの空手演武

日時：平成28年1月17日（日）

場所：具志川改善センター

久米島の人口・世帯数（2015年12月末現在）

男：4,345人 世帯数：3,969世帯
女：3,891人
計：8,236人

12月定例会

12月定例会で決まったこと	2
町政を問う 一般質問	3～11
新体制スタート	12
議会のうごき	13
翁長県知事意見交換会・青森県中泊町議会議員視察研修	14

12月定例会 決まったこと

平成27年12月（第7回）定例会は、12月17日から18日までの2日間の日程で行われました。定例会では、議案11件、同意1件を審議し、すべて原案どおり可決・同意しました。17日の一般質問では、9人が登壇し、活発な審議が行われました。

平成27年度補正予算 ※全員賛成

- 一般会計補正予算（3号）
80億41万円（7022万円増）
- 下水道事業特別会計補正予算（第2号）
増額無し、歳入歳出予算の款項の区分ごとの金額並びに補正後の歳入歳出予算金額
- 水道事業会計補正予算（第2号）

条例の改正 ※全員賛成

- 町個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例
- 町手数料徴収条例の一部を改正する条例
- 町税条例等の一部を改正する条例
- 町立学校設置条例の一部を改正する条例

確認 ※全員賛成

- 沖縄県消防通信指令施設運営協議会規約の変更
- 物件売買契約
- 負担付きの寄付の受納

同意

- 監査委員の選任



賛否が分かれた議案審議結果

賛成○ 反対×

件名	採決結果	喜久村	盛本	平良	崎村	吉永	赤嶺	仲村	喜久里	棚原	玉城	安村	翁長	饒平名
		等	實	光	正明	浩	秀徳	昌慧	猛	哲也	安雄	達明	学	智弘
久米島町高齢者コミュニティーセンター指定管理者の指定	可決	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	×	×



翁長 学 議員

問 ダムの堤防道路の 車輛通行できるか

答 通行できるようにする

翁長 現在、久米島縦断道路が工事中で南と北の流れが良くなる。しかし、西から東の北原農道が儀間で終点になっている。そこで儀間ダム堤防道路の通行を予定しているか。

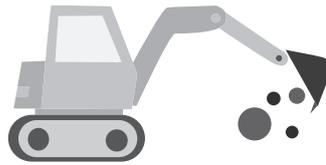
建設課長 町長と儀間ダム事務所へ行き、所長に通行可能になるように整備したいと申し出ている。

町長 議会からの要望があつて調整したいと了解を得ている。

翁長 西から東の新規の計画を要望する。

建設課長 今の所可能とは言い切れない。

翁長 新規の計画がなければ、儀間ダム堤防道路の早期の整備を。



問 芋農家への助成事業は

答 助成を行っていく

翁長 久米島町では、芋農家が多くなってきている。27年3月18日に芋の拠点産地に認定されている。そこで芋農家へどのような助成事業を行っているか。

産業振興課長 農業緊急実践対策事業によつて8セットのトラクターの導入を進めている。

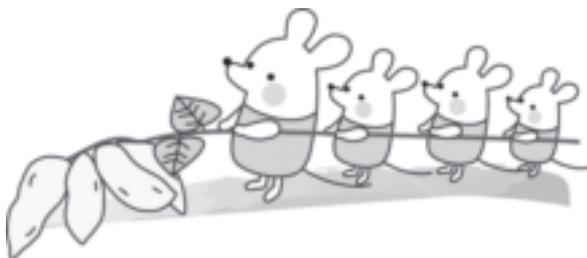
翁長 農薬補助については農家の方から補助がないと言われた。

産業振興課長 イモゾウムシの早期根絶を図るといふ観点から農薬の補助を行っている。

翁長 ていくよう財政と調整中。

翁長 連作障害の取り組みは。

産業振興課長 提供できるのがヘアリベッチという豆化の緑肥で、それを今、準備している。



問 町長の トップセールスは

答 積極的に島を売り込む



玉城安雄 議員

玉城 町の特産物の販路拡大には町長のトップセールスが重要である。今後の具体的な売込の機会等を上げる考えを伺いたい。

町長 今年度は畜産部門、観光部門等でトップセールスを実施した。現段階で具体的な予定はないが、関係機関と調整し積極的にとり組む。

玉城 水産物、農産物についても予算を計上し計画的に実施する考えはないか。

町長 具体的な日程は決まっていないが、公務出張のつど久米島をPRしている、今後もこれまで以上にやっていく。

玉城 観光、畜産についてはどうか。

町長 畜産部門で今年度は九州管区を回った、機会があれば東北もまわりたい、観光部門も関係機関と協力し積極的に取り組む。

問 地元優先発注を

答 県に強く要望する

玉城 発注工事の指名業者の選定、指名基準はごつなっているか。

町長 適正な審査を受けたもので、本社が町内、代表者等が

町内出身者を指名業者としているが、特殊な工事の場合はそ

問 学力向上の取り組みは

答 基礎学力向上のため支援をする

玉城 学力テストの結果と、学力向上の取り組みを伺う。

教育長 小学校は、調査以来初めて全国平均を上回ることが出来た。中学校では成果指標に届かず課題の残る結果である。

玉城 その結果を確かめ分析し将来に生かすため改善がある。どのように受けとめているか、今後の取り組みを伺う。

教育長 小学校では、教師が授業力を高めたこと、基礎学力定着させるための補習ができたことが結果につながっている。中学については授業改善や補習の工夫、生徒の家庭学習の努力が必要と考える。

玉城 学力向上を推進する上で地元の将来のための視点は。

教育長 久米島に誇りを持ち、心に夢を育てる児童生徒を育成していく。

の限りでない。

玉城 県発注工事の地元優先発注についてはどうか。

町長 地元優先発注はもとより、5千万円以上の工事の指名競争入札についても強く要望する。



仲村昌慧 議員

問 教育費の無償化は

答 給食の無償化を前向きに進めたい

仲村 義務教育の無償化の内容について事務方とどう検討したか、最優先で取り組むべき事項とは何か。

町長 無償化の対象として、修学旅行、演劇鑑賞会など児童生徒が直接利益を受ける学校行事で徴収される費用、そして給食費また地域学習を行う際の交通費などが考えられる。その中で島の子どもたちが地域資源を活用し、地域を学ぶ学習への支援を最優先に

取り組む。

仲村 学校給食の無償化に向けて教育委員会、給食センターとどのような議論をしたか。

町長 町の支援努力として、21年に改定された給食費について消費税が8%に値上げされた際の食材費の高騰時において据え置きし保護者への負担軽減に努めた。29年度10%に消費税が値上げされても給食費の値上げは実施しない考えである。

仲村 学校給食の無償化するのか。
町長 私の任期の期間に担当課と調整しながら、前向きに進めていきたい。

問 女性登用の町長の見解は

答 政府目標を可能と考える

仲村 女性の登用を促すため、大企業や国・地域自治体に数値目標の設定を義務づける女性活躍推進法が成立した。女性の力を発揮してもらい、社会の活力を維持するのが狙いである。この法律は新年度から動き出すことになるが、女性の登用について町長の見解を伺う。

後更に伸びることが予想される。管理職の女性登用率では、県内市町村の平均6・1%を上回る数字である。政府が第4次男女共同参画基

本計画をかけた2020年度末までの市町村管理職女性登用率20%の目標は決して難しいものではないと考えている。

町長 現在久米島町の女性登用率は管理職で11・1%、行政員で21・4%となっている。各審議会等においても女性の活躍が顕著であり、今



問 農地の生産力の向上を

答 鉾山のイシグーの活用を検討



平良弘光 議員

平良 久米島の農地は主に国頭マージが多く、酸性土壌となっていて、作物の生育が良くない。その対策は。

産業振興課長 現在鉾山から出るイシグーの活用を業者と検討している。



問 農業改良普及員の増員を

答 県に増員を要請する

平良 最近、久米島町においても、多種多様の作物が栽培されている。農業普及員の増員する計画はないか。

産業振興課長 よほど特殊要因がなければ困難な状況ですが、今後県に対して要望していく。
町長 J A久米島支店の職員の中から技師になれる職員を发掘するのも一つの方法である。

問 災害対応を

答 採択後に検討

平良 比屋定シンバル土地改良区の畑が沈砂地からの鉄砲水により、表土が流される被害が続いているが、その対策は。

建設課長 28年度県の事業として採択地区に入っているので、採択された後その現場測量等を入れて、設計について検討していく。



棚原哲也 議員

問 銭田森林公園の整備は

答 町民が納得する整備を

棚原 公園全体の整備予算額は。

町長 約五億円を想定、宮崎駿氏夫婦から三億円の寄附で残りの二億円は町負担。
棚原 建設後の利用と施設の運営は。

プロジェクト推進室長 福島の子どもの宿泊を想定しています。月の半分しか滞在しないので子どもたちの合宿に活用したいと調整しています。管理運営はボランティアを含めて官民共同で考えているところである。

棚原 久米島は山や海で過ごすことのできる島である。町民や子ども達は人工的に自然に近い環境を作り出し整備された遊具のない公園は必要か。

プロジェクト推進室長 遊具の必要性も出て宮崎氏との相違があるが双方が納得いく整備をしていきたい。

問 潮流調査を早急に

答 再度要請していきたい

棚原 イーフビーチや奥武島周辺海域は観光の大事なポイントとなっている潮流調査は早急に取り組む必要があるのでは。

建設課長 他事業対事業で同時進行でもっていけないか県と調整していきたい。

問 通学路の整備と外灯設置について

答 県と調整する

棚原 イーフは子どもが多い地域となっているが通学路が川沿いの為、危険性が大きい。西側へ歩道と外灯のある道路の

整備を。

建設課長 県の方と調整していきたい。

棚原 交通量が多い道路を幹線道路へ変更できないか。

建設課長 県の整備事業なので、県へ要望する。



問 人口減少に歯止めを



盛本 實 議員

答 第2次総合計画や地域創生総合戦略の中で仕組む

盛本 本町は、近年人口減少は著しい。久米島の歴史上類を見ない形で進行している。27年度国勢調査では、8、000人を大きく割り込んでいる。第2次久米島町総合計画―基本構想―の「人口の推移と予測」の中でも、2030年には6、604人、2040年には5、832人と我々の想像されている。その状況で推移すると労働力の過不足からくる産業の衰退、また福祉、教育の振興および歴

史・文化等々の継承に悪影響を及ぼすことは必至である。人口減少により、仲泊地区の中央・新興通りの商店街の衰退や学校の統廃合、久米島高校廃科問題等々が顕著に現れており、島の存続さえ危ぶまれている。その対策は緊急の課題である。町策定の第2次久米島町総合計画・基本構想の中で「人口減少を防ぐには、若者のUターンやUターンを促す事業づくりにも取り組んでいるか。具体的にはどのような取り組みを考えているか伺いたい。

町長 第2次総合計画や地域創生総合戦略の中で仕組んでいく。

町長 ①観光協会の課題である文書事務の強化にも繋がり、相互の事業において効果的かつ効率的に取り組める環境が整ってきた。

盛本 ②行政として今後観光協会内部の強化方法は。

町長 ②観光協会の強化・支援事業の継続をはじめ、現状における課題解決に向けて必要な支援については引き続き取り組む。

盛本 ③今年度の観光客の動向は。

町長 ③今年度4月から10月までの観光入域者は去年より増えている。

盛本 ④今期のFD Aの状況と将来の見通しは。

町長 ④引き続きの継続就航を要請して

問 観光入域客12万人の目標達成を

答 各種誘致を行う

盛本 ②行政として今後観光協会内部の強化方法は。

町長 ②観光協会の強化・支援事業の継続をはじめ、現状における課題解決に向けて必要な支援については引き続き取り組む。

盛本 ③今年度の観光客の動向は。

町長 ③今年度4月から10月までの観光入域者は去年より増えている。

盛本 ④今期のFD Aの状況と将来の見通しは。

町長 ④引き続きの継続就航を要請して

盛本 ⑤主に実業団、陸上競技の駅伝部合宿の誘致をはじめアマチュアの野球キャンプの誘致継続に関する活動をはじめ、パークゴルフ大会等の全国大会誘致活動を行います。



吉永 浩 議員

問 がん治療に 渡航費助成制度の導入を

答 できる範囲での支援

吉永 本町は生活習慣病に課題があり、がんと生活習慣は関連が深く、がんのり

スクを持つ町民が少なくないと考え、離島で安心して住める体制づくりのため、

町長 がん患者の

精神的・経済的負担は大きく、行政として支援は必要と考える。
吉永 経済的理由で治療の機会を失ってはいけない。助成制度をしっかりとつくり、併せて普及啓発を行うべきである。

問 特定健診の基本料金を無料化は

答 無料化は必要と考える

吉永 本町の健康増進対策として実施されている特定健診であるが、久米島町は県内市町村の中でも生活習慣病が大きな課題である。特定健診の基本料金を無料化し、受診の壁をな

くすべきと考えるが。
町長 予防が一番大事なことであり、受診率の向上を図る上からも無料化は必要だと考える。
吉永 県内で無料化している市町村数と、無料化するための予

算額は。
福祉課長 41市町村の中で27市町村が無料化している。無料化には120万円程度の見込。
吉永 受診の為に環境整備を予算化含め要望する。

問 職場の心の健康対策の推進は

答 独自の工夫で町全体に

吉永 本町において心の健康に対する認識、取組が弱いと考える。類似市町村と比べても自死に割合が高い。昨年労働安全衛生法が一部改正され心の健康対策が推進された。町全体を巻き込んだ心の健康対策をどう考えるか。
町長 町内において今回の労働安全衛生法の改正に伴う制度

の対象になる50名以上の事業所は島内1カ所しかなく、町全体で制度を上手く活用するには独自に工夫が必要である。
吉永 ほとんどの町民が制度の網から漏れる事になり、町民の心の健康対策ができない。自殺対策の観点からも28年度中に取組を。



喜久里 猛 議員

問 久米島高校の魅力化を

答 全力で取り組む

喜久里 本町は久米島高校について、精力的に取り組んでいるが今一度、その経緯と今後の覚悟の程をうかがう。

町長 高校の編成計画を中期から後期に変更することができたが、満足するのではない。園芸科存続に向けて再度、要請している。学習支援センターをオープンし、高校の魅力化を支援していく。

喜久里 地域と行政が力を結集し頑張っているのに、本島へ

の高校受験者が多い、各中学校に、「久米島高校に受験させてください。」と言えるほどの覚悟をもっているか。

教育長 久米島高校の魅力化に全力で取り組んでいる状況、良さを機会あるごとに伝え、受験させるよう要望している。

町長 受験生の意思を尊重しなければならぬが、国立大学に進学できる環境整備をしっかりと、久米島高校進学が選択されるようにしていく。

喜久里 久米島高校の現状維持は、重要な課題であり、翁長県知事来島の際の要望事項に加えてほしい。私も強く後押しする。

問

兼城港の改良整備は

答

28年度完了し、29年度共用する予定

喜久里 兼城港の改良工事に遅れはないか。西側船溜り工事は目処がついているか？

町長 兼城港の改良整備は、28年度、完了し29年度、共用する予定で進んでいる。製水所排水は、北側道路の側溝が高い位置にあり接続でないので、浸透方式となっているが、十分に機能していないので対応策を検討して行く。

喜久里 兼城港に関連して、東側の仮橋が台風で壊れ、県に改修を要望したと

ころ、県の財産ではないので、改修できないとの回答が返ってきたが、仮橋は、前回の兼城港整備の際、一時係留場所として県の予算で整備され、現在に至っている。県の財産として、しっかりと管理するよう強く要望してもらいたい。

この、県の財産ではないので、改修できないとの回答が返ってきたが、仮橋は、前回の兼城港整備の際、一時係留場所として県の予算で整備され、現在に至っている。県の財産として、しっかりと管理するよう強く要望してもらいたい。

これも質問

問

グレーチングのきしみ音対策
道路の滑り対策

問

フリカヒゲシバ（外来種の雑草）
対策

答

関係課で協議し対応策を検討したい



赤嶺秀徳 議員

問 久米島の航空運賃低減を

答 引続き運賃低減に向け 取り組んでいく

赤嶺 島外には多くの久米島出身者が住んでいる。しかし、

大多数の人が故郷に行きたいけど行けない、特に若者や低所得の人には航空運賃

が高いことがネックとなつているのである。それは、航空運

賃が異常な程高いことである。久米島に人が来ない最大の原

因だと私は思っている。人のいない島に

発展は無い、風光明媚な久米島に人を呼び活性化する為には

何が最良の方策か考

える時期である。そこで、①運賃の低減は。

町長 ①今後とも運賃の低減に向けて取り組みます。

赤嶺 ②単独線を廃止して、他社の参入を考えるべきでは。

町長 ②25年度策定した「久米島町観光振興基本計画」においても、複数航空会社の参入が必要である。航空路線の拡充

の可能性については、今年調査を進めている。

赤嶺 ③町出身者まで引きの拡充を。

町長 ③24年度から沖縄県交通政策課所

管による「沖縄県離島住民等コスト負担軽減事業」により運賃の軽減が図られて

います。事業当初から本町出身者及び観

光客など当外者の割引制度が無かったことから、沖縄県及び航空会社に対し、幾度となく運賃低減の要請を重ねてまいりました。今年度5月から「球美の島交流促進事業」が実現しておりますが、引き続き運賃低減に向け、取り組む。

編集後記

昨年11月に行われた第4回久米島町議会議員選挙は、定数14に対し20人が立候補し、まれにみる激戦で投票率が上がると予想したが、過去、最も低い投票率となった。その原因の一つに若者の投票率が低いことである。全国的にも若者の投票率が低いと言われていたが、今年7月の参議院選挙より投票率が18歳まで引き下げられる。若者には政治に関心をもち投票権を行使してもらいたい。

選挙の結果は、新人が4人、現職10人が当選した。初議会で議長・副議長・議会の各組織が決まり、12月定例会では9人の議員が一般質問を行った。

議会だよりでは、一般質問や議会で決まったことを、町民にわかりやすく、読みやすい紙面づくりを心がけていきたい。

(仲村)

広報委員

仲村 昌 慧
崎村 正 明
翁 長 学
饒平名 智 弘
吉 永 浩

第5期

新体制スタート



平成27年12月8日、議員選挙後初の議会を開き、議長、副議長、各常任委員会委員の選任などを行いました。議員任期は、平成31年11月30日までの4年間。議員定数は14人です。

議長 幸地 猛

副議長 玉城 安雄

常任委員会

※常任委員会は会議に提出された議案などを分野別に分けて審査・調査するために設置されていますが、久米島町では現在、全議員で審査・調査を行っています。

総務・文教・民生委員（7人）

委員長 安村 達明
副委員長 仲村 昌慧
委員 翁長 学 平良 弘光
赤嶺 秀徳 饒平名 智弘
吉永 浩

建設・経済委員（6人）

委員長 喜久里 猛
副委員長 棚原 哲也
委員 崎村 正明 喜久村 等
玉城 安雄 盛本 實

議会運営委員

委員長 安村 達明
副委員長 喜久里 猛
委員 棚原 哲也
仲村 昌慧
玉城 安雄

※議会運営委員会は議事の円滑な進行を図るため、議会の運営について協議することを目的として設置されています。

広報特別委員

委員長 仲村 昌慧
副委員長 崎村 正明
委員 饒平名 智弘
翁長 学浩
吉永 浩

※特定の事柄について専門的に審査・調査するため、特別委員会が設置されます。久米島町では広報特別委員会が設置され、議会だよりの発行等を行います。

沖縄県 離島医療組合議会	副議長	安村 達明	沖縄県介護広域連合議会	議員	吉永 浩
	監査	棚原 哲也	南部後期市町村圏事務組合議会	議員	平良 弘光
	議員	喜久村 等	沖縄県後期高齢者医療広域連合議会	議員	赤嶺 秀徳

久米島町議選監査委員 盛本 實

■ 平成27年 11月

- 4日・世界の久米島チュー大会実行委員会に議長出席
- 5日・全国無形文化財保持団体協議会全国大会に議長出席
- 10日・佐世保市基地対策特別委員会表敬に議長出席
- 19日・儀間ダム竣工式典・祝賀会に議員出席
- 22日・比嘉公民館建設チャリティーパークゴルフに議員出席
- 26日・うまんちゅ交流会に議員出席
 - ・譜久里武氏マスターズ陸上優勝祝賀会に議員出席
- 28日・久米島町民俗芸能大会に議員出席



■ 平成27年 12月

- 2日・JA久米島支店組合員交流の集いに議員出席
- 6日・久米島産業まつりに議長ほか議員出席
- 8日・第6回臨時会
- 11日・町老人クラブ連合会忘年会に議長出席
- 14日●議会運営委員会
- 16日・離島医療組合議会議員出席
- 17日●12月定例会
- 18日●12月定例会
 - 広報委員会
- 19日・和牛改良組合忘年会に議長出席
- 25日・楽天久米島協力会評議委員会に議長ほか議員出席



■ 平成28年 1月

- 4日・野菜、花卉合同初荷式に議長ほか出席
 - ・町新年会に議長ほか出席
- 6日・消防出初め式に議長ほか出席
- 7日・南部地区市町村議会議長会定例総会に議長出席
 - ・南部地区関係団体合同新年懇親会に議長ほか副議長出席
- 10日・町成人式に議長ほか議員出席
- 13日・翁長県知事との意見交換会に議長ほか議員出席
 - ・翁長県知事との懇親会議長ほか副議長出席
- 15日・久米島製糖操業開始式に議長出席
- 17日・牛購買者意見交換会に議長ほか出席
- 18日・久米島家畜セリ市場初セリに議長ほか出席
- 21日・議会広報委員研修会に議員出席
- 26日・青森県中泊町議会議員視察研修会及び懇親会に議長ほか議員出席
- 28日・南部離島町村議長会協議会定例会に議長出席
 - ・県後期高齢者医療保険広域連合会議員全員協議会に議員出席
- 29日・議員研修会議長ほか議員出席
- 30日・町新春書道展オープニングセレモニー、表彰式に議長ほか出席
- 31日・東北楽天イーグルス歓迎セレモニーに議長ほか出席

翁長雄志沖縄県知事久米島行政視察・意見交換会

1月13日（水）から14日の日程で翁長県知事が久米島町行政視察を行いました。

海洋深層水取水整備増強や航空路線運賃低減、久米島高校の存続について等を中心に意見交換会が開かれ、翁長県知事は、「人口減少の課題が根底にある。人がいなければ経済活性化にもならないし、人がいなければ、育てることもできない。21世紀ビジョンにもあげているように離島の歴史・文化も含めた長期的な展望が図られることが求められる」と総括した。



県知事との集合写真



県知事との意見交換会

青森県中泊町議会議員視察研修会及び懇親会



中泊町議会議員と集合写真

1月26日（火）に青森県にある北津軽郡中泊町より中泊町議会議員14名、事務局職員1名が来島した。「久米島におけるプロ野球キャンプの経緯と効果について」の意見交換が行われた。その後、車エビ・海びどう養殖場や海洋深層水関連施設・楽天キャンプ関連施設（ホテルドーム・野球場）を視察した。

視察後の交流会では大田町長・桃原副町長も参加し、地元の食材を活かした郷土料理や古堅シンカ・登武那覇太鼓・フラダンスが披露され、三味線と太鼓に合わせてカチャーシーを踊って心温まる交流会になった。



交流会写真



一般質問をモニター中継します

年4回行われる本議会の一般質問を仲里庁舎1階ロビーのモニターで生中継します。町民を代表して質問する議員の様子を見ることができます。3月議会の一般質問は3月8日の午前10時から予定していますので、お気軽にご観覧にお越しください。

